

令和7年8月7日（木）

石狩市立花川北中学校

児玉 慶一

1 単元名 第2章2節 日本列島の誕生と大陸との交流
2 弥生時代の暮らしと邪馬台国

2 単元や本時における石中社の研究との関わり

〔1年次 社会的事象への関心を高められる授業の展開と導入の工夫について〕

本単元では、日本の旧石器時代から大和政権の成り立つまで、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを学習する単元である。

本時では、弥生時代の暮らしを縄文時代の暮らしと比較させながら、農耕の広まりが生活や社会に与えた影響などを考察させていきたい。

（1）生徒が切実性・必要性を感じ学びに向かう気持ちを高める工夫

→①SDG s の目標のカードを数枚提示しながら SDG s の目標を教師が発問をしながら確認する。その後、「令和の今の時代」ではSDG s の目標にあるように、不平等や貧困の問題を抱えていることを生徒と共有する。

→②前時で学習した縄文時代の学習を思いださせながら、「令和の今の時代」ではSDG s のような課題があるが、「縄文時代」の人々が抱えていた課題はどんなことがあるか数名発表させる。

→③縄文時代の人々は「平和で平等で豊かな生活」をしていたと言われることもあることを生徒に提示することで、生徒の思考をゆさぶり学びに向かう気持ちを高めることにつながると考えた。

（2）「導入の工夫」を単元や本時の学習に効果的に生かす工夫

→縄文時代の人々は「平和で平等で豊かな生活」をしていたと言われることもあることを生徒に提示することで、課題である「縄文時代と比べて弥生時代の人々は幸せだろうか」を意欲的に取り組むきっかけになると考えた。

→終末でも縄文時代の人々は「平和で平等で豊かな生活」をしていたことを生徒に再度提示することで、導入とのつながりをより持たせることができると考えた。

（3）生徒が学びに向かう気持ちを「知識・技能の習得」「社会的な見方・考え方を働かせた思考・判断・表現」につなげる工夫

→課題解決に向かう、縄文時代の暮らしと弥生時代の暮らしのイラストから、既習事項を使い比較しながら資料を読み取り、ペアで対話し自分の考えを表現する機会があることで達成すると考えた。

3 単元の指導計画

学習内容	課題
単元を貫く学習課題 東アジアの国々は歴史上、日本にどのような影響をあたえたか。	
1 旧石器時代と縄文時代の暮らし	日本列島に住み始めた人々はどのような生活をしていただろうか。
2 弥生時代の暮らしと邪馬台国	縄文時代と比べて弥生時代の人々は幸せだろうか。
3 大王の時代	漢字や仏教がどのように日本に伝わったか。

4 本時の学習

(1) 本時の目標

弥生時代の人々の生活を縄文時代の生活と比較しながら、稲作の伝来が食料を蓄えることにつながり、国家をつくる要因になったことを理解する。

(2) 本時の評価

① B 規準

稲作の伝来が弥生時代の人々の生活や社会に影響を与えたことを理解することができた。

<指導の手立て>

弥生時代に国ができ、争いがあった要因を考えさせる。

(3) 本時の展開

段階	時間	学習活動	教師の指導・支援	学習評価等
導入	10	・前時の復習 ・SDGs の開発目標から縄文時代の人々の生活の課題を考える。 ・縄文時代の人々は「平和で平等な豊かな生活」であったと言われていること確認	・前時の学習内容の発問 ・縄文時代の人々の生活はどんな課題があったか問いかける。 ・縄文時代の人々は「平和で平等な豊かな生活」であったと言われていること提示	
展開	30	縄文時代と比べて弥生時代の人々は幸せだろうか。 ・縄文時代と弥生時代の人々の暮らしのイラストを比較し、両時代に共通する点や違いを考える（個人） ・読み取ったことを交流する（ペア）→数名発表（全体交流） ・稲作は人々の生活を豊かにしたのか考える（個人） ・考えたことを交流する（ペア）→数名発表（全体交流） ・国家の成り立ちや支配者が王になっていく説明をきく ・中国の歴史書をもとに当時の日本を確認する（倭・邪馬台国・朝貢等）。	・縄文時代と弥生時代の人々の暮らしのイラストを提示 ・読み取ったことをペアで交流させた後、数名発表させる。教師はイラストを提示し、発表を補助 ・稲作をすることで良い点や稲作によって生じた出来事に着目させる ・国家の成り立ちや支配者が王になっていく説明をする ・中国の歴史書をもとに当時の日本を説明する（倭・邪馬台国・朝貢等）。	
終末	10	・弥生時代の人々と縄文時代の人々はどちらが幸せだったか立場を明確にし、その理由を「稲作」、「国家」の語句を使い自分の考えをまとめる ・立場の違う、数名が発表 ・ワークシート提出	・縄文時代の人々は平和で平等な豊かな生活であったと言われていること再度提示 ・縄文と弥生時代の人々がどちらが幸せだったか立場を明確にするよう指示する。指定する語句を使って理由を示すよう指示する。 ・数名発表させる ・ワークシートの回収	評価(ワークシート)

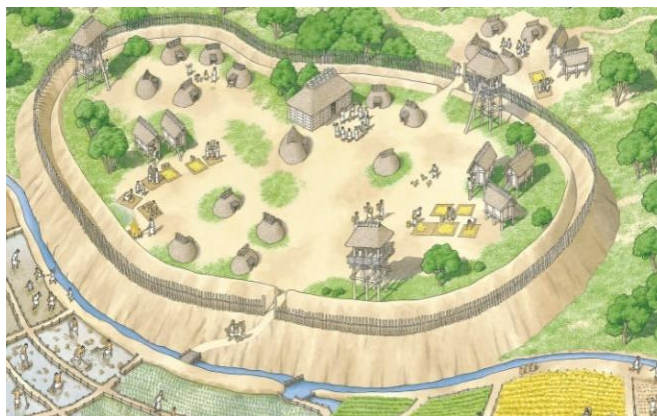
課題【 縄文時代と比べて弥生時代の人々は幸せだろうか。 】

①縄文時代と弥生時代の人々の生活の資料から共通点や違う点を見つけよう。

<P 3 5 縄文時代のむらの生活の様子>



<P 3 6 弥生時代のむらの生活の様子>



共通点

違う点

② (稲作) は人々の生活を豊かにしたのか。 ※稲作は取り組む時に記入

豊かにした 豊かにしていない ※どちらかに○

理由

③P 3 7 ⑧～⑩の資料読み取り ※赤文字は教師の説明を聞きながら生徒が穴埋め

- ・「漢書」地理志 : (倭) に 1 0 0 以上の国
- ・「後漢書」東夷伝 : 倭の奴国が後漢の皇帝に朝貢し、金印をもらう (「漢委奴国王」)
- ・魏志倭人伝 : (邪馬台国) の (卑弥呼) が魏に朝貢した。

※朝貢とは…

【まとめ】弥生時代と縄文時代の人々はどちらが幸せだったか。自分の立場を明確にし、「稲作」・「国家」2つの語句を使い理由とともに記入しよう。

幸せなのは (縄文 ・ 弥生) 時代の人々 ※縄文・弥生どちらかに○

理由 「稲作」・「国家」の語句を使うこと